

シンフォニー

ご挨拶

社会福祉法人 横浜市社会事業協会
理事長 佐々木寛志

昨年の日本は、台風、地震、猛暑とさまざまな天災に見舞われました。自然の脅威を前にすると、人間はいかに無力であることか。とはいえ、災害に対処して可能な限り被害を小さくすることが肝心でしょう。当法人でも、各施設において改めて災害への備えの大切さを確認したところです。

さて、昨年4月からの今年度は、「チャレンジ予算」と銘打って、各施設が事業活動収支で少し高めのプラスを目標として設定しました。第3四半期現在で、法人全体で概ね目標を上回る数字となっています。各施設で施設長と職員が力を合わせて頑張っている結果です。

一方、資金収支の全体では、今年度から多機能型拠点の施設整備・運営等に伴う借入金の返済が始まりました。また、各施設の今後の施設整備や設備更新等のための資金準備も必要です。これらを考慮しつつ、引き続き安定した財務運営を維持していくために、法人が一丸となって努力してまいります。

ところで昨今、福祉施設での求人難が話題になっています。当法人では、採用困難職種といわれる、たとえば看護師さんの確保に今年度は就職支度金などの新たな取り組みを始めました。また、学卒者等の新しい職員の確保にも力を注ぎました。その結果、今年は13名の内定者があり、4月には当協会の新しい仲間として加わります。引き続き、法人として人材の確保、育成、定着に努めます。職員の皆さんにはご自身のスキルアップと職場のチーム力の向上を期待しています。

今年度も残りわずかとなりました。各施設では日々目の前の業務に追われる一年間ですが、時には不測の事態に備え、また時には日常を離れた視点で課題を検討することも必要です。今後とも、利用者の方々により良いサービスを提供すること、ご家族や地域の方々、関係機関等に信頼され良好な関係を維持すること、そして職員の一人ひとりが働き甲斐のある職場づくりをしていくことを目標に、役職員が心と力を合わせていく所存です。

評議員、理事、監事をはじめとする関係者の皆さまには、変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



平成29年度 事業報告（抜粋）

重点目標に対しての達成状況

- ① 会計体制の整備
各事業所に対し、会計に関する内部監査を実施した。内部監査では、会計事務処理体制の確認に加えて、利用者預り金、利用者負担金の業務マニュアル確認を行った。不備のあった事項については、全事業所とも年度内に改善を完了した。
- ② 採用活動
コア人材に位置付ける新卒者の採用活動については、目標数の10名の採用に至った。
- ③ 障害者雇用
目標とする全事業所での雇用達成には至らなかったが、これまで未雇用であった4事業所において新たな雇用に至った。

平成29年度 決算書

資金収支計算書（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位 千円）

経 理 区 分	収 入	支 出	差 額
法 人 本 部	211,976	165,164	46,812
よこはまバーサイド泉	518,140	489,712	28,428
居宅サポート・リバーサイド泉	143,311	142,939	372
グループホームゆい	141,597	141,105	492
横浜市中心中央浩生館	203,312	209,440	-6,088
横浜市大岡地域ケアプラザ	173,003	170,842	2,161
横浜市箕沢地域ケアプラザ	179,924	176,078	3,846
横浜市保土ヶ谷区生活支援センター	77,691	70,428	7,263
グループホームサンライズ	59,885	59,614	271
よこはまバーサイド泉Ⅱ光梨	123,747	104,302	19,445
グループホームアンダー	39,418	38,978	440
横浜市鶴見区生活支援センター	69,081	61,270	7,811
よこはまバーサイド泉Ⅲのぞみ	131,656	124,709	6,947
横浜市多機能型拠点こまち	384,433	357,367	27,066
イ ン カ ル	32,165	25,044	7,121
す て ら 縁	30,288	27,394	2,894
本 部 収 益 事 業	18,979	18,344	635
法 人 合 算	2,580,192	2,472,170	108,022

事業活動収支計算書（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位 千円）

経理区分	収入	支出	差額
法人本部	197,869	138,107	59,762
よこはまバーサイド泉	515,585	496,581	19,004
居宅サポート・リバーサイド泉	143,312	144,253	941
グループホームゆい	141,414	140,660	754
横浜市中心浩生館	148,195	151,652	-3,457
横浜市大岡地域ケアプラザ	172,569	169,228	3,341
横浜市箕沢地域ケアプラザ	167,644	154,606	13,038
横浜市保土ヶ谷区生活支援センター	77,225	70,172	7,053
グループホームサンライズ	59,885	59,842	61
よこはまバーサイド泉Ⅱ光梨	123,745	105,736	18,009
グループホームアンダー	39,417	39,095	322
横浜市鶴見区生活支援センター	68,866	60,184	8,682
よこはまバーサイド泉Ⅲのぞみ	133,246	131,607	1,639
横浜市多機能型拠点こまち	215,253	372,819	-157,566
インカール	32,165	24,956	7,209
すてら縁	30,138	21,291	8,847
本部収益事業	771	829	-58
法人合算	2,310,788	2,378,693	-67,905

貸借対照表（平成30年3月31日現在 法人合算）

（単位 千円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	867,148	流動負債	332,346
		固定負債	620,491
固定資産	1,772,945	負債合計	952,837
		純資産	1,187,638
合計	2,640,093	次期繰越活動収支差額	499,618
		合計	2,640,093

平成 30 年度 事業計画（抜粋）

基本方針

平成 29 年度は、横浜市多機能型拠点こまちが開所するなど、法人の事業規模はさらに拡大したが、その一方労働市場は慢性的な人手不足を示している。法人が 10 年 20 年と事業を継続し続けるためには、「職員一人ひとりが健康でいきいきと働き続けることができる職場環境の構築」が重要となってくる。平成 30 年度は、そのために必要な対策を講じていく。

重点目標

- ① 職員一人ひとりが働きやすい職場環境の構築
- ② 健康経営の推進
- ③ IT 推進室
 - 情報発信力の強化
 - セキュリティの強化
 - 業務効率化の推進

目標達成のための対応策

- ① 全職員一人ひとりが働きやすい職場環境の構築
 - 従来の嘱託職員制度を改善し、職員が多様な働き方ができるように支援する。
 - ハラスメント対策をより一層充実させる。
 - 職員の資格取得を支援するための制度を検討する。
- ② 健康経営の推進
 - 昨年度に引き続き、よこはまウォーキングポイントに事業所単位で参加し、歩くことによる健康づくりを勧奨する。
 - 横浜市健康経営認証「クラス A」取得を目標に準備を行う。
 - 心の健康づくりについて、職員のサポートを行う。
- ③ IT 推進室
 - 各事業所が運用しているホームページを法人共通にまとめるとともに、ウェブアクセシビリティにも対応させる。
 - ネットワーク構成を変更し、セキュリティの強化を行う。
 - 業務効率化のため、電子決済システムの導入、チャットワーク運用の拡大などを進める。

平成30年度 資金収支予算書（当初）

経理区分		平成 29 年度	平成 30 年度	増 減
法 人 本 部	収入	173,315	172,886	429
	支出	173,851	233,397	59,546
よこはまバーサイド泉	収入	553,310	558,461	5,151
	支出	552,820	555,991	3,171
居宅サポート・リバーサイド泉	収入	153,022	149,793	-3,229
	支出	150,462	138,618	-11,844
グループホームゆい	収入	142,405	144,405	2,000
	支出	142,235	140,556	-1,679
横浜市中心中央浩生館	収入	178,081	178,120	39
	支出	173,305	166,910	-6,395
横浜市大岡地域ケアプラザ	収入	169,614	179,273	9,659
	支出	167,995	174,773	6,778
横浜市箕沢地域ケアプラザ	収入	163,801	171,651	7,850
	支出	158,267	165,388	7,121
横浜市保土ヶ谷区生活支援センター	収入	85,904	86,820	916
	支出	85,796	86,207	411
グループホームサンライズ	収入	58,202	58,452	250
	支出	57,600	56,358	-1,242
よこはまバーサイド泉Ⅱ光梨	収入	126,371	129,671	3,300
	支出	124,456	126,879	2,423
グループホームアンダー	収入	41,198	40,187	-1,011
	支出	39,998	36,388	-3,610
横浜市鶴見区生活支援センター	収入	74,076	79,064	4,988
	支出	74,246	78,748	4,502
よこはまバーサイド泉Ⅲのぞみ	収入	136,506	133,106	-3,400
	支出	135,061	133,039	-2,022
イ ン カ ル	収入	33,254	35,036	1,782
	支出	32,865	34,802	1,937
横浜市多機能型拠点こまち	収入	298,774	392,014	93,240
	支出	361,973	391,728	29,755
す て ら 縁	収入	24,069	30,460	6,391
	支出	23,299	22,600	-699
本部収益事業	収入	750	750	0
	支出	110	40	-70
法人合算	収入	2,412,932	2,540,429	127,497
	支出	2,457,169	2,545,252	88,083



目次

ご挨拶（表紙）

事業報告・決算書……………1、2

事業計画・資金収支予算書……………3、4

<事業所紹介>

横浜中央浩生館…………… 6

よこはまりバーサイド泉…………… 7

横浜市大岡地域ケアプラザ…………… 8

横浜市箕沢地域ケアプラザ…………… 9

横浜市保土ケ谷区精神障害者生活支援センター……………10

居宅サポート・リバーサイド泉……………11

よこはまりバーサイド泉Ⅱ 光梨……………12

横浜市鶴見区精神障害者生活支援センター……………13

よこはまりバーサイド泉Ⅲ のぞみ・ひまわり……………14

横浜市多機能型拠点こまち……………15

法人本部事務局……………16

横浜市中央浩生館

事業所紹介・魅力

横浜市中央浩生館は生活保護法に基づいた更生施設です。中央浩生館は身体上又は精神上の障害により日常生活を営むことが困難な方を対象に自立への支援を行う施設です。入所したご利用者様の作業支援、就労支援、生活支援等を通して自立に向けた支援を行っています。入所定員は68名で精神に障害のある方、アルコール依存症の方、失業等で居所を無くした方などが入所し自立に向けた取り組みを行っています。現状として施設の入所期間は平均2～2年半となっています。原則として18歳以上64歳未満の方を対象としています。当館を自立退所してアパートやグループホームに入居し、社会復帰を目指していきます。更生施設の機能としては利用を継続する中で、ご本人の生活能力、作業能力、生活の中で抱える困難等を見極め、ご本人や関係機関と協議しながら、社会復帰に向けての支援をします。また、担当職員と個別支援計画を作成し、アセスメント、モニタリングを繰り返してご本人のニーズを充足します。自立に向けてのモチベーションを保つ支援として、必要に応じて通院同行、服薬の施設管理など、医療に関するサポートも行います。他にも館内作業を中心として生活リズムの改善、金銭の施設管理等の身近な生活支援も実施し、生活の立て直しを目指します。



事業所のイチ押し

当館のイチオシは「レクリエーション」です。ご利用者様は日中に館内作業があり外出する機会が少ないため、屋外で活動する事でリフレッシュして頂いております。ボウリング大会や映画鑑賞以外にも、バーベキューや餅つき大会など、季節に合わせた行事もございます。ご利用者様の希望を取り入れる等、今後も充実させて行きたいです。

年間レクリエーション

ボウリング大会

・1.2.3位には景品が出ます。ご利用者様にも人気のレクリエーションです。

映画鑑賞

・ご利用者様と映画を見に行きます。邦画や洋画、アニメ作品など様々なジャンルを鑑賞しています。

バスハイク

・福祉観光バスを利用して日帰り旅行に行きます。温泉や莓狩り、県外に行くこともあります。



よこはまりバーサイド泉

事業所紹介・魅力

リバーサイド泉では施設入所・日中デイサービス・放課後等デイサービス・短期入所と常時介護を必要とする 60～90 名程の重度の障害者に対して、サービスの提供を行っています。日中においては入浴・食事・排泄・送迎サービス・創作活動・生産活動等の支援を行い(生活介護事業として)、夜間においては、食事・排泄などの生活全般の支援を行っています。当施設では活動が豊富で、余暇的活動(散歩、紙芝居、映画鑑賞等)、創作的活動(ぬり絵、貼り絵、クラフト、書道、フラワーアレンジメント、パソコン等の講座)やボランティアさんによる読み聞かせ等、沢山の活動があります。また、ご利用者様の年齢層が幅広いというのも特徴です。施設入所では 20 歳代から 80 歳代の方が共に生活を送っています。活動の場では入所とデイサービスのご利用者様とが入り混じり、若いご利用者様と年配のご利用者様の交流を持っています。社会人経験のある中途障害の方や、高齢で知識の豊富な方もいらっしゃるの様々な学びがあることや社会性を養う機会になっている様子も見られます。多くのご利用者様がいらっしゃる分、職員も多く、支援員・看護師・栄養士・リハビリスタッフ・相談員と多職種が日々、支援を行なっています。



事業所のイチ押し



私たちのイチ押しはやはり、「ノーリフト」です！ノーリフトとは、リフターやスライディングシート、ポジショニングクッションなどを用いて、職員の腰痛予防・ご利用者様へのケアの質向上をさせることを目的としています。平成 28 年度より、当施設で本格的に導入しました。今年度で 3 年目になります。導入以前と比べると、リフター使用者が 3 名(平成 27 年度)から 18 名(平成 30 年度現在)に増加しています。また、今年度、浴室の機械浴に天井走行リフターを導入しました。年度を重ねるごとに、着実にノーリフトの理念や技術が浸透しています。また、新しいことを始めることで既存のマニュアルや環境を見直すきっかけにもなっていると感じています。今後も、より良い施設へ変えていけるよう施設全体で組んで行きたいと思っております。

写真右(リフターに移乗中の中村施設長)



リバーサイド泉の おすすめイベント

8月

花火大会

家族会の方を中心に夏の風物詩”花火”を当施設のお庭で皆で楽しめます！



10月

リバーサイド祭

いちばんのイベントです！地域の方やご家族と一緒に屋台や出し物を楽しめます！



12月

クリスマス会

毎年恒例！一年目の職員が催し物を企画します！ご利用者様も楽しみにしています！



横浜市大岡地域ケアプラザ

地域の方々に支えられて 25 年



横浜市大岡地域ケアプラザは、地域の皆様が住み慣れた地域でいつまでも健康で安心して暮らせるようお手伝いする福祉・保健活動の施設です。

平成5年に南区で開所し、地域の方々に支えられ

て現在に至っています。ケアプラザのデイサービスや高齢者支援、障害児余暇支援、子育て支援などの地域交流事業は、地域のボランティアの皆様のご協力により成り立っています。

当ケアプラザでは、何かカタチになるもので感謝の気持ちを伝えたいと思い、3年前より「ボランティア感謝会」を開催しています。例年50名を超える参加をいただき、職員一同改めて日頃の感謝をお伝えできる、大きな機会となっています。

「来年も楽しみにしているよ！」など、たくさんの嬉しいお言葉も頂くことができ、ケアプラザの次年度への原動力です。

今後、介護が必要な方を取り巻く環境はますます厳しくなります。ケアプラザでは、事業や地域の社会資源を活用して元気に生活していただけるよう、ボランティアの皆様と一緒に頑張っていきたいと考えます。

～事業所のイチ押し～

ボランティア感謝会～当日の様子



お互いの活動紹介の後、歓談ではボランティアの皆さんの笑顔が印象的です。最後は職員一同より、感謝の気持ちを込めてハンドベルを披露しました。さて・・・今年度も楽しみです。

今年の出来事

春！桜満開！

ケアプラザのある南区弘明寺は桜の名所でも有名です。満開を迎えた桜は毎年圧巻です。職員も年度の始まりに、気持ちが引き締まります。



夏は納涼会！

今年度で第3回を迎えた納涼会は今年も200名を超える参加をいただき大盛況の開催を終える事ができました。夏休みの思い出のひとつになれば・・・。



自慢の大岡菜園！

デイサービスではご利用者様、スタッフがお花や野菜を愛情を込めて育てています。大岡菜園で収穫した野菜は昼食の時などに利用して、おいしくいただいています。



横浜市箕沢地域ケアプラザ

事業所紹介・魅力



横浜市箕沢地域ケアプラザは平成14年に中区で開所し、地域の方々に支えて頂きながら現在に至っております。全体の合言葉は「みんなのびのびサポートのわ」。当プラザの行っている4事業をご紹介します。

【地域包括支援センター】看護師、

主任ケアマネジャー、社会福祉士の専門職3職種での部署となり介護保険全般、高齢者の暮らしの中での困り事、高齢者の健康づくり、介護予防、成年後見や高齢者の権利擁護に関する事等のご相談窓口となっております。

【地域交流活動事業】ケアプラザのお部屋の貸し出し、ボランティア活動支援、講座や教室の開催などいろいろな事業を通じて地域の皆様の活動を応援し、住みやすい地域づくりのお手伝いをしています。

【居宅介護支援事業】ご利用者様のご希望を伺いながら担当ケアマネジャーが介護度に応じた居宅サービス計画書を作成。関係するサービス事業所との連絡調整を行います。

【通所介護・第1号通所事業横浜市通所介護相当サービス】在宅で要支援以上の認定を受けている高齢者の皆様を対象に健康チェック・食事・入浴・レクリエーション・機能訓練などのサービスを提供しています。

～事業所のイチ押し～



私達のイチ押しは、地域住民の皆様との交流を通じて得た情報を自分だけの情報にせず、支援につなげる事ができる『地域と顔が見える、風通しがよい事業所』である事です。

私達は、地域住民の皆様にとっての身近な相談窓口としてご利用いただき、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らす為の後方支援をしております。それは日頃からご協力いただいている地域住民の皆様、日頃の感謝を込めて貢献したいと考えているからです。



★箕沢のイベント★

初詣

1月

本牧神社に初詣に行きました！！今年も良い年になりますようにと皆様とお願いしました。



夏祭り

8月

ご利用者様にスカットボールゲームやヨーヨー釣り、綿あめやたこ焼き・かき氷やジュースを提供しました。また、盆踊りをしたり、お神輿を担ぎ大変盛り上がりしました。



ケアプラザ祭り

11月

毎年秋に開催するケアプラザ祭り。地域の方が模擬店を担当していただき、盛り上げてくださっています♪



クリスマス会

12月

ボランティアさんによる演奏会や出し物を一週間実施♪昼食も特別食として通常より豪華なメニューになっています！！



こんな場所です！

相鉄線皇川駅から徒歩2分。駅の改札を抜けると目の前には帷子川。晴れた昼下がりには、かるがもの親子が、悠々と泳いでいる姿をよく見かけます。帷



子川を越えてすぐにある「かるがも」という複合館の4階に保土ヶ谷区生活支援センターがあります。目の前に区役所・消防署、徒歩5分圏内に警察署や児童相談所などが立ち並んでいる非常に恵まれた立地です。

保土ヶ谷区生活支援センターは、地域生活の維持や地域生活における問題解決、地域ネットワークの構築といった機能と役割を持っており、精神疾患を抱えた方が、地域で安心して過ごせるように支援することを目的とした施設です。アウトリーチや計画相談などの事業に力を入れていますが、今年度からは新たに立ち上げた「かるがも隊」にも力を入れていきます。



「かるがも隊」は来年度に実施を検討している自立生活援助事業を見据えて2018年の4月より発足しました。発足するにあたり「どんな支援ができるか」を考えながらご利用者様とお付き合いを始めました。現在は、隊長1名、隊員1名の人員で活動しています。ご利用者様にもご家族にもご好評いただいています。

事業所のイチ押し

今年の春にちょっと嬉しいニュースがありました。3年前に横浜市の緑化キャンペーンでいただいた5本の桜の苗木の中の1本が今年になりようやく咲いたのです。当初は、荒れ放題だった花壇をなんとか整地して植えたので、咲いた時はとても嬉しかったです。

残りの苗木はというと1本は枯れてしまいました。

残った3本には、枯れてしまった桜の分まで綺麗に咲いて欲しいなど大切に育てています。

来年の春は、3本とも咲いた桜をご利用者様と一緒に楽しめたら良いなと思います。



こんな事もしています！

パン・ド・カナール

奇数月の第一土曜日に実施しているイベントです。

講師の先生をお呼びしてご利用者様と一緒にパン作りを体験していただいています。

出来上がるパンはいつも美味しそうです♪



桜丘高校お茶会

毎年、夏に実施している単発のイベントです。

桜丘高校の茶道部の生徒さんにお願いをして、センターの静養室でお茶を点てていただいています。



クリスマス会

センターの中で最も大きなイベントです。

クイズやビンゴなど、参加される方々と毎年楽しく実施させていただいています♪



居宅サポート・リバーサイド泉

事業所紹介・魅力

居宅サポート・リバーサイド泉では、ホームヘルプ関連事業・共同生活援助事業の運営を行っております。では、事業の概要を紹介させていただきます。

ホームヘルプ関連事業では、現在、障害者グループホームや一般家庭にヘルパーが訪問し、起床・入浴・食事等の身体介護や家事全般介助、通院や余暇支援の外出同行をさせて頂いております。定期的な研修会を開催し技術の向上に努め、安全・快適な介護を提供できるよう心掛けております。

共同生活援助事業では泉区和泉町内に身体障害者のグループホーム7軒（男性4軒、女性3軒）、精神・知的障害者グループホーム2軒、計9軒のグループホームの運営をしております。ご利用者様の自己決定を尊重し、ご自身の生活を設計する第一歩として快適な生活環境を提供しております。この事業が連携・協力し合う事でご利用者様へスムーズに安全なサービス提供ができております。



外観

内観

グループホームゆい5

事業所のイチ押し

運営管理システムの導入

平成30年7月に運営管理システムを導入しました。職員・ヘルパーにスマートフォンを貸与して、専用のアプリで勤務管理、活動日報、実績管理を行っています。このシステムの導入により、従来の実績票への手書き記載・印鑑の押印が必要なくなり、また月末の書類回収がなくなる事で、職員・ヘルパーの手間が大幅に削減できております。操作が難しい職員・ヘルパーの為に、導入開始時に当事業所で研修を行いました。導入から半年間が経ち、システムを利用する職員・ヘルパーから、「効率が良くなっている」「一人一人の介助がスムーズ」等、より良いサービスを行っているとの声が出ております。

居宅サポート・リバーサイド泉のできごと・研修

消防訓練

グループホームでは通常生活支援員が一人で勤務（主に早朝・夕方では介助ヘルパーも訪問勤務しています）をしております。火災が発生した際は速やかにご利用者様を安全な場所に避難誘導します。初期消火や火災通報の仕方等が重要であるため、年に二回に分けて訓練を行っています。



ヘルパー研修

11月に、ヘルパーを対象に、①ご利用者様への適切なコミュニケーション ②腰痛対策 ③車椅子操作方法の3項目について研修を行いました。介護経験が少ないヘルパーから、勤続年数が長いヘルパーまで介助に必要な知識と技術の向上を計り、ご利用者様へ安心したサービスが提供出来るよう、取り組みました。

よこはまりバーサイド泉II光梨

事業所紹介・魅力

ひろがろう・かがやこう・りんりんと

～笑顔あふれる活動・支援をめざして～



光梨では地域の方々との繋がりを大切に考えながら、生活介護・相談支援・日中一時支援を行っています。現在、光梨のデイサービスでは52名の利用登録があり、毎日26名程の方が通所されています。私達は、「皆の笑顔であふ

れる活動」「全員が楽しんで参加できるような活動」「可能性を広げる事のできる活動」「充実感を得られるような活動」等、協力しながらより良い活動・支援を提供できるように頑張っています。「創作・頭脳・表現・音楽・運動・ケア」を組み合わせた活動をホールで、作業活動を作業室で並行して行っており、ご利用者様が選択できるような環境を作っています。また、クラブ活動や毎月講師をお招きして「絵手紙講座・陶芸講座・読み聞かせ」も行っており、日々、制作や活動に取り組んでいます。今後ご利用者様のアイデアを参考に、様々な活動展開ができるよう、ご利用者様・職員が一丸となって頑張っていきたいと思っております！！

事業所のイチ押し

光梨のイチ押しは『食事』です!(^^)!

光梨には、52名の方が利用されています。そのうち平成生まれの方は33人。平均年齢は32.8歳です!!毎日若いエネルギーが光梨にはあふれています。その反面平均年齢40歳をこえている職員達も…。食欲旺盛のご利用者様が毎日楽しみにしているのが昼に提供される食事です。栄養のバランスはもちろん、新鮮な野菜などの食材を選び、手作りにこだわっています。中でも一番人気のメニューは、一味違う特製の麺類です。トッピングも工夫されていて汁が絶品です!!



←メニュー

- ・かけそば
- ・ちくわと野菜の天ぷら
- ・温奴のあんかけ
- ・缶フルーツ

光梨エトセトラ



成人式

1月

・今年度は4名のご利用者様が新成人!



交流会

・ご利用者様・ご家族、光梨職員と楽しい時間を過ごします



年間を通して

日帰り外出

・6月から3月にかけてご利用者様が3～4名のグループに分かれ、遠、近距離ドライブ・電車・ショッピング・食事などを楽しまます



11月

LaFesta ぴっかりーな

・今年度7回目を迎え、恒例の抽選会は大いに盛り上がりました!



横浜市鶴見区精神障害者生活支援センター

地域共生社会の実現に向けて



鶴見区生活支援センターは、今年7年目を迎えます。当センターでは「基本相談支援事業」「計画相談支援事業」「自立生活アシスタント事業」「地域移行・地域定着支援事業」と4つの事業を実施しています。その中でも、基本相談

支援事業は、地域の方や当事者の方々の身近な相談をお受けしたり、共に様々な行事を開催したりしています。特にライブイベントは、開所からずっと継続しており、音楽の力の素晴らしさを実感しています。また、町内会の方々と夏祭りを毎年開催しています。ご利用者様と職員が一丸となり、地域の子供達の夏の思い出作りに貢献しています。センターの夏祭りに来てくれた子供達が、大人になった時に、子供の頃の体験を通して精神障害の理解を深めてくれることを願い継続しています。そのような芽が出ることを願い、種まきを続けていくことが地域共生社会の実現に繋がっていくと信じています。これからも持ち味であるチームワークを発揮し、実践を続けていきたいと思えます。



2018年・イベント

初詣

1月

「総持寺」へ皆で初詣へ。良い年になるよう祈願に力が入ります！！



♪ライブイベント♪

3月

ミュージシャンをお呼びして、利用者さんも職員も一緒に盛り上がります♪



ハロウィン

10月

秋はハロウィンの季節です。可愛いお化けが参加者の歓声を誘います。



クリスマス

12月

1年の締めくくりは、クリスマス。食べて・笑って、ライブイベントもあります♪



おまつり 事業所のイチ押し

毎年7月に地域の方々と共催して開催される「夏祭り！」

祭り当日は、センターの施設内を地域の方々に開放！カサブランカ(自助グループ)主催のビンゴ大会では、大人も子供も大はしゃぎ♪
また、名物の「もちつき大会」では、地域の子供達も参加して、一緒にもちつきをします(^_^) ついたおもちは来館して下さった方々や、自治会の方にもお配りしています。★ここ数年は、「今年も、おもちを食べにきました」と言ってお越しくださる地元の方も増えました！
そして今年は新しくチョコバナナも加わりました！



のぞみ ひまわり

事業所紹介・魅力

・のぞみでは今年度より、障害の特性や支援ニーズに合わせて、ご利用者様を2つのグループに分けました。職員も2つのグループに分かれ、グループごとにご利用者様を受け持つケア方式を採っています。職員同士でスムーズな支援の在り方を日々模索しています。ご利用者様一人ひとりに合わせた支援の重要性や難しさを、改めて痛感しています。

・ひまわりでは、学齢期にあるご利用者様を支援する一事業所として、各関係機関との連携を重視しています。それに加えて、独自の生活・交流の場であるよう、楽しみや成長を感じられる支援を掲げ、日々邁進しています。

・障害の重度・重複化、多様化が進んでいると言われていています。のぞみ・ひまわりにおいても、多様なニーズを持つ障害のある方を受け入れ、医療的支援の充実を図るべく、支援員・指導員による医療的ケアの拡充の計画も進めています。各職種の連携が重要であるということも、日々共有して業務に取り組んでいます。



(↑専任の調理員が作るミキサー食は評判が良いです。)

(シンボルマークの時計台です。↑)

事業所のイチ押し

ここ数年、近隣に他法人の福祉事業所がたくさん設立されました。既に共同して行事を開催したり、日中プログラムで事業所を行き来したりして、交流・連携を深めています。今後もこの地の利を生かして、地域社会との懸け橋となることを目指します。

また、近隣の土地開発が発展途上です。駅前の広場の拡大や公園配置の計画が進行しています。ご利用者様や職員にとっても、地域生活が豊かになる可能性が秘められています。

イベント紹介

5月

のぞみ交流会

交流会

新年度には、ご利用者様、ご家族様、職員が顔を合わせる場を設けています。

9月

のぞみひまわりフェスタ

周辺の秋祭りと重ならないように、毎年9月上旬に開催しています。皆さん遊びに来てください！

10月

ハロウィンイベント

昨今のブームに乗り、仮装やペイントをして、近隣を練り歩いています。

12月

クリスマス会

「ご利用者様と作る」を合言葉にしています。手作り感あふれるアットホームなイベントです。



横浜市多機能型拠点こまち

事業所紹介・魅力

横浜市多機能型拠点こまちは医療と福祉サービスが一体化した施設で総合支援相談窓口により、サービスと情報提供等を行っています。医療的ケア等を必要とする重症心身障害児・者の方とご家族が身近な地域で安心して生活できるように整備された横浜市内3館目の「多機能型施設」です。

日々の活動においては、通所リハビリにも力を入れ取り組んでいます。

また、在宅においては訪問リハビリを提供しています。



こまちのイベント

9月 こまち祭り

ゲームやバザー、模擬店を出店しました。ご利用者様やご家族だけでなく近隣の方もたくさん参加してくださいました。



12月

せやまる・ふれあい祭り

隣の建物、せやまと合同でお祭りを行いました。こまちでは模擬店や作業販売、なごみクリニックでは健康チェックを行いました。



音楽療法

音楽療法を週1度行っています。専門の先生に来ていただき、曲に合わせて楽器を鳴らしたり、手足をマッサージしたり、楽しみにしているご利用者様も多くいらっしゃいます。



こまちのイチ押し

フリガナ ウチヤマ ユカ	6月2日生	
名前 内山 友香	(20歳代)	
所属 リハビリテーション	職種 理学療法士 (PT)	
仕事内容		
主に、生活介護事業にてリハビリを実施しています。呼吸ケアや姿勢管理などを行い、ご利用者様の生活機能の維持・向上を図っています。		
仕事へのこだわり		
ご利用者様1人ひとりと向き合えるように意識しています。その日・その場面の様子や、ご利用者様の反応に気付くことができ、より良い生活環境を提供できるように精進していきます。		
趣味・休日の過ごし方		
友達と食事やおでかけに行くことが多いです。実家のある埼玉へ行くことも度々あり、浦和レッズを観戦します。 また、最近では河口湖や葉山で行われたヨガに参加しました。		
特記・特技		
水泳が得意です。4歳から習い始め、大学生の時まで水泳部に所属していました。特に背泳ぎが好きです。		

法人本部事務局

事業所紹介・魅力

佐藤です



土屋です



★法人本部では、年間を通して採用活動と職員への研修の企画と実施を行っております。

【採用活動】

採用説明会プログラムのひとつ、座談会では若手職員と学生とで、仕事に関する話から学生時代の話、プライベートの話

などざっくばらんにお話しをしております。時には学生のプライベートや知識の豊富さに若手職員が圧倒されることも…（笑）他にも、法人の一職員として恩師にご挨拶と求人のご案内をしに母校へ訪問します。スーツを着た卒業生を見て「あの頃はどうかと思ったけど、ご立派になられて」と、しみじみされる先生方もしばしば…。8月と2月には内定学生と若手職員の交流の場である懇親会についても企画と運営を行っております。

【研修企画と実施】

主に新採用職員研修に力を入れております。研修ではマナーはもちろん、専門職としての知識や考え方、法人の職員としての働き方について、グループワークなどを通してお伝えしております。また8月・10月・2月のフォローアップ研修では、法人職員として今までよりもスキルアップして頂くために研修の企画を行っております。



事業所のイチ押し

法人本部では職員一丸となってよこはまウォーキングポイントに力を入れております！

法人本部ではオフィスワークがほとんどの為、身体を動かすことが少ない環境です。

そんな運動不足を解消する為に、専用の万歩計を持ってウォーキングポイントにチャレンジしております。

事業所・個人ごとにランキングも表示されるので皆で切磋琢磨しながら健康づくりに取り組んでおります。

目指せ1日10000歩！

市内事業所ランキングトップ10！



★本部の重要任務★

★新採用職員研修★

4月

毎年新採用職員を対象に10日間の研修を実施します。最終日はみんなで決意表明！



★内定者懇親会★

8月

若手職員と内定者で懇親会！美味しいご飯を目の前に、学生の緊張もほぐれ会話も弾みます。



★内定式★

10月

理事長から直々に内定証書を授与されます。最後の写真撮影では緊張していた雰囲気もなくなりみんなでピース☺



★次年度へ向けて…★

次年度はどんな学生と会えるかな？と考えながら次の採用説明会の日程を決めたり、研修内容を計画しております。



社会福祉法人 横浜市社会事業協会 機関紙

シンフォニー

第22号

発行元 社会福祉法人 横浜市社会事業協会
横浜市泉区中田東 3-15-2 中田町センタービル 202

発行日 平成31年1月31日

印刷所 就労継続支援 A 型事業所 アテイン